



# 東日本大震災 人形劇による支援活動報告会 ～4年目を迎えて～

2014年8月8日(金) 18:30～20:30  
川本喜八郎美術館 映像ホール 参加費；無料

「いい顔・笑顔 人形劇の会」は、東日本大震災のあと、3年にわたりシンポジウム、チャリティー公演、報告会などの企画でフェスタに参加してきました。4年目に入り、あの大きな震災の記憶が薄れてきつつありますが、現地の状況が好転したとはまだまだいえない状態です。

心に傷を負った子どもたちは、その傷を内面に秘めたまま、日々を過ごしています。人形劇などを被災地の子どもたちに届けて、笑顔の時間を共有したいという当会の活動は、これからも継続していかねばならないと考えています。



「人形劇の力が心のケアの問題に大きな役割を果たすこと」を考えたり「被災した現地の様子の報告」「子どもへの支援/保育者への支援の報告」などを通し、今後の支援公演の継続の必要性を、あらためて認識するとともに、支援活動が今後も多くの方たちと繋がっていくことができればと思っています。

**みなさま、ぜひご参加ください！**

●講演「人形劇と心のケアについて」 黒岩長造（飯田女子短期大学教授）

「災害後の子どもたちの心のケア」では、映像などとは違う生の人形劇の力が大切ということを中心にしたわかりやすい講演です。

●報告「震災と津波による被害と子ども」

大橋巳津子（宮城県石巻市「なかよし保育園」園長）

石巻市は報道でもとくに注目されたところで、市内にある「なかよし保育園」も実際に津波の被害があったところです。当時の子どもたちの様子や保育施設や保護者の危機管理のこと、現在の復興の実態などについての報告です。

●報告「子どものへの支援と保育者への支援」 幸田真希（聖徳大学短期大学部教授）

人形劇などを子どもたちが楽しむことが、保育士への支援にもなることをまとめた報告です。「いい顔・笑顔 人形劇の会」の子どもへの支援と合わせての報告です。

●報告「福島から避難している子どもたちへの支援」 後藤宏子

（早稲田大学発達行動学研究室かささぎプロジェクト&NPO 法人のういくネットワーク）

●報告「福島県への継続文化支援活動」 矢吹英孝（札幌市こどもの劇場やまびこ座館長）

**いい顔・笑顔 人形劇の会** info@iikao.org FAX:03-3304-6307

飯田市中央公民館2階わくわくショッピングの部屋で小さな展示コーナーを開設しています